

高森町バイオマス 活用推進計画策定に伴う 提言書を町長へ提出

昨年10月7日「高森町バイオマス活用推進計画必要性検討委員会」が発足し、バイオマス活用推進計画の必要性と、町が取り組むべき課題について、町長へ提言が行なわれました。

検討委員会は委員長に熊本大学大学院自然科学研究科 鳥居修一教授を選任し、右記のメンバーで活発な意見交換を行い、バイオマスを利用し循環型社会の構築を図るよう提言書をまとめたものです。

提言書の内容(抜粋)については、下記のとおりです。詳細については、高森町ホームページをご参照願います。(http://www.town.takamori.kumamoto.jp/)



バイオマス活用推進計画必要性検討委員会委員

委員長	熊本大学大学院自然科学研究科	鳥居 修一
副委員長	高森町商工会指導員	志村 俊和
委員	熊本県環境立県推進課	森 英樹
委員	小倉原牧野組合 組合長	安片 英人
委員	阿蘇森林組合高森支所長	瀬井 悦老
委員	高森新商品開発部 代表	谷川 洋一

- 1 バイオ(生物資源)マス(量)を活用し、新たな産業を創出し、町の成長戦略とする。
- 2 森林や牧野のバイオマスを活用し、阿蘇の景観保全につなげる。
- 3 家畜排せつ物を効果的に活用し、臭気の問題を解決する。
- 4 バイオマスを化石資源に代替して活用し、地球温暖化防止に貢献する。
- 5 バイオマス活用の研究開発や事業化(民間事業者の含む)に関し経済的支援措置が見込まれる。

高森温泉館 指定管理者による運営から町直営へ 平成24年5月1日(火)から 新たな体制で再オープン

4月1日(日)から4月30日(月)まで休館

高森温泉館については、指定管理者による運営を3月31日まで行ってきましたが、入館者の減少や燃料高騰、施設設備の修繕等により非常に厳しい状況が続いておりました。

このような状況を踏まえ町としては、今までの運営を精査するとともに、より効率的運営を図るため、当分の間、**町による直接運営を行います。**

つきましては、**様々な許認可の切り替え**や、**施設の管理体制の整備**に、少なくとも1ヶ月の時間がかかるため、**4月1日から4月30日まで休館いたします。**

住民の方々には大変ご迷惑をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

なお、再オープンは、諸般の準備が終了次第行ないますので、5月1日より早くなる場合があります。

その際は、回覧や防災無線でお知らせいたします。

■お問い合わせ先 政策推進課商工観光係 TEL62-1111